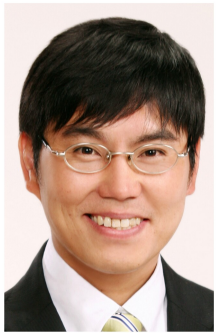


セクハラやじ・執行部に質問を書いてもらう議員

議会への信頼が問われています



日本共産党市議会議員

小田桐たかし

今年8月吉日に発行（新聞折込は8月1日）された加藤啓子議員の『かわら版』。セクハラやじを受けたかと思われる内容や、「自分で質問を書かずに執行部に書いてもらい、漢字を読み間違えたりしていることは議員になって初めて知った「議会の真実」である」と記載しました。

新聞報道をうけ、8月19日、緊急の市議会全員協議会が開催されることに。事実の把握へ機敏な対応が取られました。

18日に開催された議会運営委

事実把握へ 市議会全員協議会を開催

議会では、小田桐たかし市議が「議運は、6月議会途中からこれまで5回開催されたが、（セクハラやじは）一切話題になっていない。我が党4人に確認したが「聞いていない」。セクハラやじはあったのか、各委員に確認したい。また、質問を執行部に書いてもらっているという「議会の真実」は、会派の中で事実確認すべきでは？」と指摘。「明日の全員協議会で、真相を把握すべき」との発言があり、全員協議会へ持ち越されることになりました。

女性議員、活動報告チラシで訴え

セクハラやじ 流山で波紋

流山市議会の加藤啓子議員（53）「会派なし」が、「本会議の質問中に、スカート姿を揶揄するセクハラやじを受けた」と活動報告チラシで訴えていることが14日、分かった。他の女性議員からの指摘を受けた主張で、市議会事務局の録音マイクではやじは確認できていない。議会ではやじの有無確認を求める声のほか、加藤議員の言動を問題視する声も上がり、波紋を広げている。

その後、1万5千部印刷したチラシの中で「やじが飛んだらしい」と主張し、「市の音響器具は都議会のようにやじまで拾うことほどできないため、誰が言ったのか特定できない」と述べた。

やじを名乗り出ている議員はならず、他の男性議員からは、「はっきりしないことを真実であるかのように主張し、議会を侮辱している」といった批判も上がっている。

加藤議員は「複数の議員の会話などからやじがあったという確信はある。やじをやめてもらいたいのではチラシに書いたが、揚げ足取りの様な形で攻撃され残念だ」としている。

セクハラやじをめぐって市議会の様子を報道する産経新聞（8月15日）